

令和4年第1回大崎市議会定例会会派代表質問発言通告書

発言 順	議席 番号	氏 名	発 言 事 項	90分
1	8	改新クラブ 八木吉夫	<p>1 市政運営の総括について</p> <p>(1) 今任期4年の市政運営に対する所感を伺う</p> <p>(2) 今後の大崎市の目指す姿と重点課題について伺う</p> <p>2 今後の大崎市について</p> <p>(1) 4月の市長選への出馬の考えについて伺う</p> <p>3 来年度当初予算及び財政について</p> <p>(1) 4月の市長選を控え通常は骨格予算とする新年度予算だが、予算編成に当たり意を用いた点について伺う</p> <p>(2) 昨年11月公表の今後10年間の財政見通しにおいて、「持続可能な財政運営のための取り組み」として、目標に掲げた財政調整基金に頼らない予算編成は実現できたか</p> <p>4 新型コロナウイルス感染症対策について</p> <p>(1) 追加（3回目）接種の前倒しを含めた進捗状況について</p> <p>ア 福祉施設、教育施設等に勤務する方たち等、いわゆるエッセンシャルワーカーの皆さんへの接種は今回も優先されるべきと考えるが、優先接種の考えについて伺う</p> <p>イ 65歳以上の高齢者に係る2月中の追加接種完了の見通しを伺う</p> <p>(2) 5歳～11歳の子供たちへの接種について</p> <p>ア 様々な変異株の特性、感染した場合の症状及び、ワクチンの副反応等のリスクと、接種で得られるリターンを対象者とその保護者へ丁寧に説明することが肝要だが、所見を伺う</p> <p>イ 接種を望まないケースが多いことが懸念され、接種の勧奨として、成人と異なる手法が必要と考えるが、所見を伺う</p> <p>ウ 接種目標70%の設定は、接種を選択しない方への無言の圧力になる可能性があると考えますが、所見を伺う</p> <p>エ 接種しないことを選択した子供たちへの差別、いじめ等があってはならないが、その対策について所見を伺う</p> <p>(3) 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金について</p> <p>ア 本年度コロナ対策として予算化された事業の執行状況及び、不用額となる見込みについて伺う</p> <p>イ 国の令和3年度補正予算に計上された新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金の本市への配分限度額は、約6.8億円とのことだが、想定している主な事業について伺う</p> <p>(4) 中小企業・小規模事業者の生き残りのためのさらなる経済対策について</p> <p>ア 長引くコロナ禍で疲弊している市内中小企業・小規模事業者へのさらなる支援の必要性と、今後の経済対策について所見を伺う</p> <p>5 産業振興について</p> <p>(1) 第2次大崎市産業振興計画後期計画の初年度、重点事業</p>	90分

発言 順	議席 番号	氏 名	発 言 事 項
			<p>は何か</p> <p>(2) おおさき産業推進機構設置に向けた新年度の具体の予定について伺う</p> <p>(3) 企業及び教育、研究機関（例えば、ICT及びメタバース関連）の誘致促進に向けた新年度の取組について伺う</p> <p>(4) 成長の期待できるICT関連企業及び研究機関の誘致促進について</p> <p>ア 大崎市内でテレワークやワーケーションに、継続的に企業を挙げて取り組む市外企業を「(仮称) リモートワーク連携企業」に位置づけ、様々な支援パッケージを創設し、事業の拡大を図るべきと考えるが、所見を伺う</p> <p>6 農業振興について</p> <p>(1) 本年度産米のJA概算金大幅下落を受け、水稻に重心を置く本市農業の戦略の練り直しが必要と考えるが、新年度の重点取組について伺う</p> <p>(2) 地域によって異なる多様な地形や気候といった特性を生かし、多様な農作物栽培を推進（農産物の個別化、ブランド化）し、それぞれの地域で収益を上げ、持続可能な農業経営を目指すべきと考えるが、所見を伺う</p> <p>(3) 農産品の輸出戦略、特に、ささ結の海外販売戦略について所見を伺う</p> <p>(4) スマート農業推進に向けた新年度の具体の取組について伺う</p> <p>(5) 大崎地域広域行政事務組合の西地区熱回収施設で余剰となった熱を利用した地域振興、農業振興策について改めて所見を伺う</p> <p>7 林業振興について</p> <p>(1) コロナ禍のウッドショックが林業の追い風となっている今、新年度の重点事業を伺う</p> <p>(2) 新年度は、令和3年度比25%増額と予想される森林環境譲与税の使途について伺う</p> <p>8 工業振興について</p> <p>(1) 新年度の製造業の業況（景気）をどのように見ているか伺う</p> <p>(2) その見立てを受け、第2次大崎市産業振興計画後期計画に掲げた地場企業の自動車関連産業への参入支援、サプライチェーンの見直しによる製造拠点の国内回帰を行う企業の誘致及び、設備投資を行う立地企業への支援をどのように進めるか、所見を伺う</p> <p>(3) 長期的に成長が見込める脱炭素関連技術等最先端技術を保有している企業の誘致について所見を伺う</p> <p>9 商業振興について</p> <p>(1) デジタル地域通貨導入についての所見を伺う</p> <p>(2) 市外企業の市内へのサテライトオフィス誘致を進めるべきと考えるが、所見を伺う</p> <p>(3) 第2次大崎市産業振興計画後期計画に掲げた創業者、事業承継者の育成支援に係る新年度の具体の取組について伺う</p>

発言 順	議席 番号	氏 名	発 言 事 項	
			<p>10 観光振興について</p> <p>(1) 旧鳴子総合支所跡地へ、温泉発酵博物館と大型遊具を整備してはどうか、所見を伺う</p> <p>(2) 観光地の移動利便性向上に向けたM a a S（マース）実装について所見を伺う</p> <p>11 世界農業遺産と選奨土木遺産について</p> <p>(1) 第2次大崎市産業振興計画期計画に掲げた「世界農業遺産×SDG s」を通じた大崎らしさの見える化に係る新年度の具体の取組について伺う</p> <p>(2) 土木学会選奨土木遺産になっている鳴子ダムの観光資源としての利活用策として、国交省が掲げている河川空間のオープン化に係る新年度の具体の取組について伺う</p> <p>12 デジタル田園都市構想と地方創生について</p> <p>(1) デジタルトランスフォーメーション（DX）の推進の具体的施策の視点に掲げたデジタル技術によって「持続可能なデジタル田園都市」を目指すとの意気込みに対して、新年度の具体の取組について伺う</p> <p>(2) デジタル人材の育成、確保の具体策について伺う</p> <p>(3) 市内5Gエリアの現状と、ビヨンド5G活用に向けた取組について伺う</p> <p>(4) 今年度末までに、本市地方創生総合戦略の第2期が策定されるが、現計画の7年間の成果をどのように評価するか。また、第2期に向けた課題をどのように捉えているのか、併せて伺う</p> <p>13 カーボンニュートラル（ゼロカーボン）について</p> <p>(1) 国が進める2050年カーボンニュートラル（CN）に向けた新年度の具体の取組について伺う</p> <p>(2) CNに向けた本市のロードマップはいつまでにつくるのか</p> <p>(3) CNは、成長、発展のきっかけと考えるが、所見を伺う</p> <p>14 デジタルトランスフォーメーション（DX）について</p> <p>(1) なぜ今、自治体DXなのか。本市職員のDXに対する認識はまだまだ低いものとするが、いかにして理解を深めていくのか具体の取組を伺う</p> <p>(2) 既存業務のICT化ではなく、DX推進で欠かせない市民目線の新たな発想から生まれる業務構築を目指すべきだが、所見を伺う</p> <p>(3) 地域データの収集と、オープンデータ等の活用についての所見を伺う</p> <p>15 学校教育について</p> <p>(1) 学力向上は、学校教育の終わりのない課題と考えるが、令和3年度全国学力・学習状況調査結果からみると大崎市の結果は決して良好とは言えない。当然、学力は他と競うものではないことは自明だが、たゆまぬ努力でさらなる向上を目指すべきものであり現状に甘んじてはならない。大崎市の学力向上に向けた新年度の具体の取組について伺う</p> <p>(2) GIGAスクール2年目に向けて、これまでの課題を解決するための新年度の具体の取組について伺う</p>	

発言 順	議席 番号	氏 名	発 言 事 項	
2	1	創新会 早坂 憂	<p>(3) コミュニケーション教育の本市での実践と効果について 所見を伺う</p> <p>(4) 学校統廃合における地域学校協働活動を念頭に、学校側の地域理解は十分か、学校ボランティアは機能するのか</p> <p>16 児童保育事業について</p> <p>(1) 病児保育、病後児保育のさらなる推進について所見を伺う</p> <p>(2) 保育施設や教育施設への不審者侵入防止対策、特に、侵入防止柵、防犯カメラ設置等のハード対策について所見を伺う</p> <p>17 子ども医療費助成について</p> <p>(1) 子ども医療費助成については、さらなる拡充が求められるものの、財政的な制約があるのも事実であり、バラマキとならず必要な家庭にしっかりと支援が行き届くことが肝要と考える。改新クラブでは、対象年齢の拡大は将来の話として、事業効果から判断し、早急なる所得制限の見直しを一貫して提言している。新年度に向け、所得制限の見直しの考えを伺う</p> <p>18 地域包括ケアについて</p> <p>(1) 住民主体による支え合い訪問型生活支援モデル事業の実績を伺う。また、事業の周知について所見を伺う</p> <p>19 子育て支援について</p> <p>(1) 冬場や悪天候時、子供が体を動かせる場所がない。子供の肥満防止の観点からも大型室内遊具整備が必要と考えるが、所見を伺う</p> <p>20 治水事業について</p> <p>(1) 大崎市の治水対策について伺う</p> <p>ア 氾濫を防ぐ、減らすための対策について伺う</p> <p>イ 被害対象を減少するための対策について伺う</p> <p>ウ 被害の早期復旧復興のための対策について伺う</p> <p>エ 流域治水への取組について伺う</p> <p>1 市内常襲冠水地域への対策について</p> <p>(1) 令和4年度の取組内容と、台風やゲリラ豪雨を想定した対策と取組について</p> <p>(2) コロナ禍で市民統一清掃が実施できず、泥上げや江払いを行えなかった地域も多く、高齢化が進むなど作業が困難な地域もあるが、4年度も実施ができなかった場合の対策について</p> <p>(3) 地域によっては付近の川の増水や冠水により御手洗が使えなくなる地域もあるが、公共下水道の整備促進を含めた対策について</p> <p>(4) 市内のハザードマップを確認すると、幹線道路沿いに色づけが濃い箇所が目立つ。これは道路が水をせき止めているという見方もできると考えるが、国や県への働きかけの状況と、今後の対策について</p> <p>(5) 大江川改修整備促進委員会が近接地区の行政区長を中心</p>	75分

発言 順	議席 番号	氏 名	発 言 事 項
	26	佐藤和好	<p>に組織されたが、今後の大江川の整備と国・県への要望状況や整備計画について</p> <p>2 世界農業遺産のさらなる利活用策について</p> <p>(1) 利活用に向けたさらなる見える化について、映像コンテンツによる資源の見える化は実現したとのことだが、具体的な活用の見える化の進捗状況について伺う</p> <p>(2) 大崎市以外の4町の動きについて、大崎市の取組と比べてなかなか活動が見えてこないとの意見も数多くあるが、やはり1市4町全ての連携が最大の効果を生むものと考え。今後の連携の在り方について所見を伺う</p> <p>(3) 令和3年度、副読本はどのように活用され、生徒たちの理解はどのように深まったのか。また、副読本の活用事例共有会についても併せて伺う</p> <p>(4) ブランド認証制度の具体的なイメージについて、農家の所得を向上させるためにどのような制度を構築するのか</p> <p>3 大崎市中小企業及び小規模企業振興基本条例と円卓会議の検証について</p> <p>(1) 本条例の効果をこのコロナ禍の中でどのように分析し、今後に向けてどう生かしていくのか</p> <p>(2) 大崎市中小企業及び小規模企業の振興に係る円卓会議の在り方と立ち位置について</p> <p>(3) おおさき産業推進機構による新産業の創造支援が、第2次大崎市産業振興計画後期計画の中に改めて明記されたが、本条例の中にもある「産学官」の連携をどのように進めていくのか</p> <p>4 不登校特例校設置の可能性について</p> <p>(1) 近隣自治体では富谷市が県内の先陣をきって設置を決め、4月から運用が始まるほか、仙台市でも設置の動きがあり、ニーズの高まりを身近に感じる状況だが、本市による不登校特例校設置について、所見を伺う</p> <p>(2) 設置を検討する際の設置場所については、どのように選定すべきと考えるか。また、廃校利活用の可能性について伺う</p> <p>(3) 設置となった場合、小学生と中学生どちらも対象とすべきと考えるが、所見を伺う</p> <p>(4) 市内で活動する、学校に通っていない児童生徒への支援を行っている団体との連携の可能性について</p> <p>5 大崎市独自の取組による人財育成について</p> <p>(1) 市役所の若手職員や市内の中高生に、様々な企画を練ってもらい機会を定期的につくり、市の施策に反映させることで、若者世代のニーズに応えたり、人財育成につながる取組も可能と考えるが、所見を伺う</p> <p>(2) そのような会でアイデアを集め、大崎市のオリジナルアニメを作成し、市のPRやふるさと納税につなげる取組について所見を伺う</p> <p>(3) パタ崎さんを主人公にしたアニメ作品、動画作品の可能性について</p> <p>6 5期大崎市政（20周年）始動に向けての諸課題について</p>

発言 順	議席 番号	氏 名	発 言 事 項	
3	27	日本共産党大崎 市議会議員団 小沢和悦	<p>(1) これまでの振り返りと課題について</p> <p>ア 衰退する自治組織への大崎市流支援施策をどうするか</p> <p>1) 第6期財政支援制度の構築に当たっての基本方針について</p> <p>2) これまでの検証に自治組織の事情は反映されているか</p> <p>イ 人口減少対策の諸施策は自治体間競争の高まる中、他市と比較し特に負のイメージが強い本市ソフト事業の子育て支援の拡充、強化策をどうするか</p> <p>(2) 新たな政策課題（コロナ禍の地域経済立て直し、DX、カーボンニュートラル、SDGs等）への取組と行財政改革について</p> <p>ア 今後の財政見通しによれば、限られた財源の中で選択と集中による事業推進が不可欠と思われるが、スクラップ・アンド・ビルド、事務事業評価、政策評価をどのように考えているか</p> <p>イ 本市の主要施策の成果（事務事業評価）シート記載項目の見直しにより職員一人一人の意識改革を育成するべきでないか</p> <p>ウ 第5次集中改革プランの停滞は行財政改革の必要性の認識度が低いのではないかと、所見を伺う</p> <p>1 「子育て宮城県一」への挑戦について</p> <p>(1) 18歳までの医療費無料化と所得制限撤廃、及び学校給食無償化計画の策定について</p> <p>2 「誇りある農業」で暮らせる全国モデルへの挑戦と、地元産米の、コロナで困っている地元出身の学生等への提供について</p> <p>(1) 大崎市をはじめ農村都市の人口減少、過疎化の要因の一つは農業で暮らせなくなったことにある。「誇りある農業」で暮らせる全国モデルに、世界農業遺産登録の中心都市の大崎市として挑戦することについて</p> <p>(2) だぶついている地元産米の一部を買い上げ、親元を離れ、コロナ禍で頑張っている地元出身の学生や「こども食堂」に提供することについて</p> <p>3 ワクチン接種の加速化等と各種支援事業の継続、及びエッセンシャルワーカーの処遇改善について</p> <p>(1) 2回目から6か月での3回目接種と11歳までの接種の加速化に万全を期し、PCR検査の有効活用で感染拡大を抑える手はず、及び市民、事業者への支援事業の継続について</p> <p>(2) エッセンシャルワーカーへの「処遇改善」措置の10月以降の継続について</p> <p>4 健康長寿を目指す「認知症対策」の抜本的強化について</p> <p>(1) 旧田尻町の取組の教訓を生かした早期発見、早期治療への取組について</p>	60分

発言 順	議席 番号	氏 名	発 言 事 項	
4	15	新生会 木村和彦	<p>5 気候危機対策について</p> <p>(1) 産学官金連携による再生可能エネルギーの導入目標とプロセスについて</p> <p>(2) COP26 の決定に基づき、政府に火力発電の削減、廃止を求めることについて</p> <p>6 高齢者だけの世帯が困っていることへの対応について</p> <p>(1) 「軽度生活援助」だけで対応できない除雪支援策について</p> <p>(2) 低料金で病院や買い物に出かけることができる「高齢者福祉タクシー」制度の充実等について</p> <p>7 大崎市のジェンダー平等への取組について</p> <p>(1) 「男女共同参画推進室」の名称を「ジェンダー平等推進室」に変更し、本格的に取り組むことについて</p> <p>1 大崎市農業の基本について</p> <p>(1) 米政策に対する基本姿勢について</p> <p>ア 転作奨励金の対応</p> <p>イ 販売戦略の方向性</p> <p>(2) 林業政策について</p> <p>ア 市産材の有効活用</p> <p>イ 公共施設への市産材の活用の推進策</p> <p>(3) 畜産対策について</p> <p>ア 繁殖農家、肥育農家に対する支援</p> <p>イ 施設整備等に係る助成制度について</p> <p>2 ひとつづくり，地域づくりについて</p> <p>(1) 人口減少に対応するために</p> <p>ア 子育て支援について</p> <p>1) 乳幼児医療費の所得制限撤廃について</p> <p>(2) 安心して出産できるために</p> <p>ア 妊産婦医療費の無料化は</p> <p>(3) 移住，定住の支援について</p> <p>ア 空き家の現状認識と活用策</p> <p>3 治水対策について</p> <p>(1) 流域治水について</p> <p>ア 田んぼダムの有効活用とその効果の検証</p> <p>イ 河川床，河川敷の整備手法について</p> <p>4 統合後の廃校利用策について</p> <p>(1) 統合後の廃校利用策</p> <p>ア 民間活力を利用するための方策</p> <p>イ 不登校に対応した学校利用</p>	60分
5	21	大志会 富田文志	<p>1 新年度予算編成について</p> <p>(1) 骨格的な予算編成で配慮したことについて</p> <p>ア 骨格的な予算と本格予算との違いについて伺う</p> <p>イ 行政の継続性と政策的な予算について伺う</p>	45分

発言 順	議席 番号	氏 名	発 言 事 項	
6	28	大清水 佐藤 勝	<ul style="list-style-type: none"> ウ 財政調整基金残高と必要額について伺う 2 新型コロナウイルス対策について <ul style="list-style-type: none"> (1) 大崎市独自の新型コロナウイルス対策について <ul style="list-style-type: none"> ア 冷え切った地域経済が回復するための独自支援策の必要性と対応について伺う 3 公共交通について <ul style="list-style-type: none"> (1) 公共交通の実態について <ul style="list-style-type: none"> ア 利用者の声をどのように分析して運営に反映しているのか伺う イ 費用対効果と交通弱者の救済について伺う 4 公営住宅整備について <ul style="list-style-type: none"> (1) 管理状況の課題について <ul style="list-style-type: none"> ア 通常の管理と水害や積雪等の緊急時の管理状況の課題について伺う イ 国庫補助金の配分率が今後の計画に与える影響を伺う ウ 公営住宅建て替えの課題を伺う 	45分
7	17	公明党 横山悦子	<ul style="list-style-type: none"> 1 今回策定した総合計画の最重点プロジェクト、未来を担うまち・ひと・しごとによる田園都市創生の道筋として5年間の戦略を決定した。 大清水は「この計画のプロセスはこうあるべき」と考え、10年後の持続可能な大崎市の役割と目指す方向性を明らかにするため、伊藤市長の所信を質す <ul style="list-style-type: none"> (1) 人材育成について <ul style="list-style-type: none"> ア 大崎、栗原、登米の3圏域と連携した第2県都軸を構築し、人材育成を目指した国際カレッジ機関開設の検討組織化の考えは イ 輝く女性社会の実現を目指すための職員人材育成計画をどう考察するのか (2) 「みどりの食料システム戦略おおさき版」の策定を模索することが田園都市創生の近道である。今、国のモデルに手を挙げるのが最善手と考えるが、どう進めていくのか (3) 地域振興拠点を併せ持った地域コミュニティづくりが、まちづくりの活力を生む。おおさき流「創発」と「しごと」による市民満足度向上の考えを伺う (4) 市民協働は第2ステージに入りつつある。市民との多様な対話の姿勢を行政がどう持つのが問われる時代である。新たな仕組みをどう創り、進展を図るのか、その具体策は (5) 第5次集中改革プランの最終年度を迎えるが、スクラップ・アンド・ビルドや公共施設の統廃合は見えていない。持続可能な行政をどう目指すのか 	30分

発言 順	議席 番号	氏 名	発 言 事 項	
			<p>音、震動、低周波音の測定結果について伺う</p> <p>(2) 過去の大崎市測定結果等を根拠にして、令和3年8月6日、宮城県、仙台市、名取市、村田町、大和町及び大崎市が東日本旅客鉄道株式会社に改善の申入れを提出した。問題が改善するまで毎年申入れを行うよう、宮城県、関連市町村と協議し実施すべきと考えるが、所見を伺う</p> <p>(3) 東北、上越、北陸新幹線、高速自動車公害対策10県協議会が提出している東日本旅客鉄道株式会社への新幹線鉄道に係る騒音対策の推進に関する申入れ書にトンネル微圧により発生する低周波音の防止対策だけでなく、大崎市で問題になっている「スピードアップにより発生する低周波音の防止対策を速やかに講ずること」も明記するように宮城県経由で県協議会へ提案してもらうよう働きかけるべきと考えるが、所見を伺う</p> <p>2 市民への「デジタル化」教育の推進について</p> <p>(1) 高齢者におけるデジタル活用の現状と進んでいない課題をどう捉えているのか</p> <p>(2) 高齢者に対して「デジタル化教育」の実施をすべきと思うが、講習会を開催するなど本市の方針について伺う</p> <p>3 子ども医療費の拡大と所得制限撤廃について</p> <p>(1) 人口減少、さらに子育て世代に大崎市を選んでもらい、定住支援の対策として子ども医療助成を高校3年生まで拡大し、所得制限を撤廃すべきであると考え、所見を伺う</p> <p>4 公共下水道（汚水）計画について</p> <p>(1) 国道4号西側（古川竹ノ内、稲葉大江向）は、公共下水道、計画区域に入れたのか</p> <p>(2) 接続はしたいが高額のため、接続できないでいる市民の方がいる。費用を一度に支払うことが難しい方への補助金等の助成について伺う</p> <p>(3) 下水道が整備されて使えるようになった後、くみ取りや浄化槽から切り替えるよう接続指導をされているのか</p> <p>5 ニノ構、三日町排水路改良工事の進捗について</p> <p>(1) 要望書を提出（2019年6月28日）したニノ構、三日町排水路改良工事の進捗について伺う</p>	